



# アルミ需給は今月も引き締まるか

LMEアルミ、予想の中心は一、八〇〇ドル

(四面より続く)

・分譲マンション

前年同月比では先月の減少から再びの増加  
(前年同月比二〇・七%増)。

・分譲一戸建住宅

前年同月比では一ヶ月連続の増加 (前年  
同月比〇・六%増)。

【アルミニウム二次合金・同合金地金等生産

実績】

前年比五・九%増の六万五、八一六tと二  
カ月連続プラス、出荷は三・一%増の六万  
六、〇三〇tで二ヶ月連続プラス。このうち  
出荷先別では、鋳物一%増、ダイカスト  
三・七%増、板五・五%減、押出六・八%  
増、鉄鋼一一・四%増、合金地金メークー  
四・四%増、

【アルミニウム・押出品生産数】

四・一%増と二ヶ月連続プラスの一六万六、  
九九六t。板類は生産・出荷とも二ヶ月連続  
でプラス (出荷は前月の四・〇%増⇒二・二  
%増) 押出類は生産・出荷とも二ヶ月連続で  
プラス (出荷は前月の七・九%増⇒六・一%  
増)。

【輸入】アルミ新地金が前年比一六三・三  
%増の二三六t、二次合金が四七・三%増の  
二、三八〇t、スクラップが四三・七%増の  
一万一、四〇二t、アルミ缶が二八・一%増  
の五、四六〇t。

【輸入】アルミ新地金が前年比二五・二%増の  
一二万九、一六五t、二次合金が一六・一%増  
の一〇万一、四六八t、スクラップが四七・七%  
減の三九二t、合金スクラップが三〇・三%減  
の二、五一四t。

【見通し】

・自動車は生産が四・二%増。一月の国内内  
販売台数が前年比八・六%増。生産が三カ月  
連続プラス、販売が六カ月連続プラス。  
生産、販売共に一ヶタ增加に縮小してお  
り今後の動向に注意が必要

・住宅着工の動向については、前年同月  
比で六カ月連続の増加となつておらず、利用  
関係別にみると、前年同月比で持家、貸家は  
増、分譲住宅ともに増となつた。今後も期  
待。

・アルミニウム二次合金・同合金地金等生  
産実績は、生産出荷とともに二ヶ月連続プラ  
ス。

・輸入 前半の円安から地金。合金は増加  
したが、後半の円高からスクラップは減少  
【スクラップ需給予想】

先月に続き流通在庫は、自動車販売住  
宅着工が比較的好調な上、トランプ政策に  
よる不透明感はあるものの、足元は原料が  
急に増える数も無く、輸入塊が急騰したこと  
から国内玉ヘシフトが進んでいること、ま  
た来年一・三月の入札に向けての原料確保  
から、今月も需給は引き締まる。

【価格・為替予想】

今月はトランプ米大統領の発言・政策と旧  
正月明けの中国の動向に左右される。

トランプ米大統領に関しては、目先、混亂  
が続く入国禁止令、対ドル通貨政策、景気対  
策などがあるが、入国禁止令が自他ともに  
認める米国建国の精神に反するものである  
ことから混乱はしばらく続く。故に結果が  
先の経済対策を発表しても反応は限られる  
のではないか。

中国に関しては、米との海洋問題、為替問  
題、貿易摩擦など抱えており、またすべてを  
中国が飲むとは思えず、中国経済にも悪影  
響がでるのではないか?

それらを踏まえた二月のアルミ価格は、  
トランプ米大統領が米国入国禁止令を大幅  
解除し、中国との摩擦が一旦治まった場合、  
一月一段高の一・九〇〇ドルを予測。いず  
れかの場合は一・八〇〇ドル。下値はいず  
れの条件も達成できなかつた場合、一月後  
半安値の一・七〇〇ドル。

為替は米トランプ大統領の為替発言や景  
気対策発言次第ではないか。それらを踏ま  
え予測は、円高はトランプ米大統領の円安  
けん制発言がなされ、景気対策に目新しさ  
がなかつた場合一月後半高値一段高の一  
一円台(TTM)を予測。いずれも行われな  
かつた場合現状の一・八円台を予測。

スクラップ購買価格に関しては〇・一〇  
円高程度と予測している。